

山梨学院大学 学生アスレティック・トレーナー部の活動

The Student Athletic Trainer's Team at Yamanashi Gakuin University.

岸 邦彦¹⁾ 永井 裕樹²⁾

Kishi Kunihiko¹⁾ Nagai Hiroki²⁾

【要 約】

本報告は、平成28年度より開始しているスポーツ科学部学生を対象とした学生トレーナーとしての活動について報告するものである。僅か7名で始まったこの活動も、現在では約25名が所属し勉強会や研修会を実施している。毎週、火曜日と木曜日の夕方を基本に集合し、テーピングやストレッチを中心に練習に励んできた。平成31年度後期より本学の強化育成クラブであるバレーボール部とバスケットボール部での現場研修が開始されている。現場研修では練習前のテーピングやウォームアップの指導も始めており、今後、各強化育成クラブへ学生トレーナー達が配置され、スポーツ現場とアカデミックが融合されて山梨学院大学におけるカレッジスポーツが更に発展することを期待したい。

【報告】

山梨学院大学学生アスレティック・トレーナー部は、平成28年9月より男子学生4名、女子学生3名の合計7名でサークル活動として開始した。授業が開講されている平日の火曜日と木曜日の午後4時30分より午後7時にスポーツ科学部棟リハビリテーション実習室に集合してテーピングやストレッチの練習をすることから活動が始まった。特に学生アスリートと接するという事もなく練習のみの日々が続く時期でもあった。平成29年度からは山梨学院アスレティック&コンディショニングセンターにて学生の研修を始め、学生アスリートと接しながら解剖学的な学習とテーピング・ストレッチの研修を始めることが出来た。研修では、日頃の清掃からベットメイクや受付業務も行い、マナー研修も行いながら活動した。平成29年度は毎週火曜日と木曜日の夕方に勉強会を行っていたが、初年度からの学生だけで、新入生の加入が皆無であった。これは学生アスレティック・トレーナー部の活動がさほど認知されていなかったことが原因であると後になって判明した。平成30年度からは、新学期に行われるガイダンスなどを活用して周知に心掛けた結果、新入生の中から十数名から二十数名の学生が勉強会に参加し大いに盛り上がりを見せ始めるようになった。

毎週火曜日と木曜日の夕方は20名前後の学生が集まり、テーピングやストレッチだけでなく機能解剖学的な勉強会から身体のチェック法まで様々な勉強会を

開催していると、強化育成クラブの学生が部活の為にと参加するようにもなった。日を追って参加人数が増えるのを実感する時期でもあった。冬期には日本赤十字社山梨県支部にご協力を頂きながら救急法基礎講習会(BLS)を開催するなど、活動の幅が広がり始めた。年末には、山梨県中学陸上競技連盟から「関東地区中学陸上競技選抜合同合宿」への学生トレーナーの派遣依頼があり、岸と共に学生アスレティック・トレーナー3人が合宿に参加した。学生にとって現場での研修が出来て非常に有意義な経験を積むことが出来た。

平成31年度になるとこれまでの活動実績が認められ、大学よりサークル活動が「部」として承認される。これにより活動に必要な予算が確保され、練習に必要なテーピングやその他の医療系消耗品を十二分に購入



¹⁾ 山梨学院大学スポーツ科学部

²⁾ 株式会社 T-MARK

することが可能となった。更には新入生が十数名加わり、30名を超える規模となる。日頃の練習も上級生が指導役となり後輩達にテーピングやストレッチを指導する環境が整い始めた。9月からは男女のバレーボール部の練習に参加し、練習前のウォームアップをチームに指導する研修も開始された。緊張を隠し切れない学生も居たが、チームが快く受け入れてくれたこともあってか直ぐに良い雰囲気を保てるようになっていく。ウォームアップ指導では、メニューを学生アスレティック・トレーナー達が自ら考え試行錯誤しながら作成し指導に当たっている。選手に負傷がでて、その対応が何よりの経験となっている。一方、女子バスケットボール部では、練習前にチームへ赴いてテーピングを施せる状況が出来上がりつつある。まだまだテーピングテクニックも未熟であるが、日を増すごとに「現場に必要な臨機応変さの重要性」を実感する経験を得られている。男子バスケットボール部には一人の男子学生アスレティック・トレーナーが志願して、毎日の練習に参加することが出来ている。練習に毎日

参加している学生はまだ1年生であるが、この毎日の経験が彼を大きく成長させることは間違いないだろう。

このようにスポーツ科学部のアカデミックから派生した学生アスレティック・トレーナー部の活動が、長い歴史と実績を誇る山梨学院大学カレッジスポーツと融合し始めたのである。あくまで第3者として見聞きするしかなかった一般学生に、この学生アスレティック・トレーナー部の活動を通して山梨学院大学のカレッジスポーツに直接携わる機会が生まれたのだ。「チームと共に勝利の頂へ」立ち向かうことが出来るこの「融合」が山梨学院大学の新しく秀でた魅力となり、日本のトップ、更には世界へと羽ばたく学生アスリートを生み出していく起爆剤となれるようにこの活動が発展出来ることを願っている。

